



補足：前置と後置

基本編4日目

インクリメントとデクリメント

- **++c** ... 前置のインクリメント(cに1を足す)
- **c++** ... 後置のインクリメント(cに1を足す)
- **--c** ... 前置のデクリメント(cから1を引く)
- **c--** ... 後置のデクリメント(cから1を引く)

前置と代入

- `int c = 1;`
- `int n = ++c;`
 - ① `c`に1を足す($c \rightarrow 2$)
 - ② `n`に`c`の値を代入する($n \rightarrow 2$)
- 結果：`n = 2, c = 2`

後置と代入

- `int c = 1;`
- `int n = c++;`
 - ① `n`に`c`の値を代入する(`n→1`)
 - ② `c`に1を足す(`c→2`)
- 結果：`n = 1, c = 2`

前置と代入の注意

- もともとは、c/c++言語の仕様を真似て作ったもの
- 原則として使わないほうが良い
- プログラムを難しくし混乱を招く元になる